

# 「新次元 マンガ表現の現在」展 8月14日より開催 水戸芸術館でのお披露目後、韓国、フィリピンでも開催決定

日本のマンガやアニメは、かつて「子供の娯楽」、「サブカルチャー」として捉えられてきましたが、近年では「日本を代表するソフト・パワー」としての「メイン・カルチャー」へと、人々の意識を大きく刷新し、世界的な注目を集めています。

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、現代の日本文化と切っても切れない関係にある、マンガとマンガを取り巻く環境を展覧会というかたちで海外に紹介します。12月からソウルを皮切りに開始される海外巡回に先がけ、本展覧会を一足先に水戸芸術館にてお披露目します。

今回の展覧会では、これまでのマンガ展のようなマンガ作家の個展や回顧展ではなく、特に2000年代以降話題になった若者対象の作品群に焦点を当て、「マンガ表現の今日的可能性」というテーマに沿って展示します。二次元の芸術としてのマンガの、私的な想像の世界を、三次元の展示空間に多角的に呈示することで共有し、日本マンガのメディアとしての面白さ、新たな感動を発見していただきたいと思えます。

## 「新次元 マンガ表現の現在」展

会期 2010年8月14日(土)～9月26日(日)  
会場 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
<http://www.arttowermito.or.jp/art/>  
茨城県水戸市五軒町1-6-8 / Tel.029-227-8120  
主催 国際交流基金、水戸市芸術振興財団  
企画 高橋瑞木(水戸芸術館現代美術センター学芸員)  
空間構成 豊嶋秀樹(ジーエム・プロジェクト)



## 今後の予定

### [韓国] ソウル

会場 アートソングェセンター <http://www.artsonje.org>  
会期 2010年12月4日(土)～2011年2月13日(日)  
主催 アートソングェセンター、国際交流基金

### [フィリピン] マニラ

会場 アヤラ美術館 <http://www.ayalamuseum.org/>  
会期 2011年8月～9月(予定)  
主催 アヤラ美術館、国際交流基金

お問い合わせ 国際交流基金 文化事業部 造形美術チーム 担当:古市保子 / 川田真菜子  
E mail [Yasuko\\_Furuichi@jpf.go.jp](mailto:Yasuko_Furuichi@jpf.go.jp), [Manako\\_Kawata@jpf.go.jp](mailto:Manako_Kawata@jpf.go.jp)  
Tel 03-5369-6062 Fax 03-5369-6038  
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1  
[www.jpf.go.jp](http://www.jpf.go.jp)

PRESS RELEASE 2010年7月30日

## 参加作家・作品と展示方法（作家名の五十音順）

各作家の画像をご用意しております。以下担当者までお問い合わせ下さい。

浅野いにお 『ソラニン』（小学館、2005-2006）

作家が撮影した風景写真や『ソラニン』中の画像を用いた映像作品などによるインスタレーション。

安野モヨコ 『シュガシュガルー』（講談社、2003-2007）

立体コラージュ作品による空間インスタレーションと版画作品の展示。

五十嵐大介 『海獣の子供』（小学館、2006-）

海中世界のインスタレーションと原画展示。

今日マチ子 『センネン画報』（太田出版、2008-）

作品世界をイメージした空間に原画の展示。

くらもちふさこ 『駅から5分』（集英社、2007-）

作中の錯綜した時間や空間軸を立体的に表した迷路的展示。

二ノ宮知子 『のだめカンタービレ』（講談社、2001-2010）

下絵原画やカラーイラストを途中で登場するクラシック音楽が流れる空間で展示。

ハロルド作石 『BECK』（講談社、1999-2008）

ライブハウスに見立てた空間の中で、マンガの演奏シーンだけによる BECK の無音ライブを上映。

松本大洋 『ナンバーファイブ』（小学館、2000-2005）

巨大イラストによる空間と原画展示。

若木民喜 『神のみぞ知るセカイ』（小学館、2008-）

マンガやキャラクターにおけるリアリティといった作品の背後にある作家の問題意識をインスタレーションで表現。

### ガイドマンガについて

本展や展示作品をより深く楽しく知るためのガイドマンガを、プロのマンガ家・谷田知彦さんが描きおろします。マンガの世界に迷い込んだ3人の女子高校生キャラが、展示で紹介されている9つのマンガ世界の特徴や見どころを紹介します。

本展の開催にあわせて、ワークショップやトークイベントの実施を予定しています。詳しくは水戸芸術館ホームページをご覧ください。

<http://www.arttowermito.or.jp/art/modules/tinyd2/index.php?id=1>

お問い合わせ 国際交流基金 文化事業部 造形美術チーム 担当:古市保子 / 川田真菜子

E mail Yasuko\_Furuichi@jpf.go.jp, Manako\_Kawata@jpf.go.jp

Tel 03-5369-6062 Fax 03-5369-6038

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

[www.jpf.go.jp](http://www.jpf.go.jp)